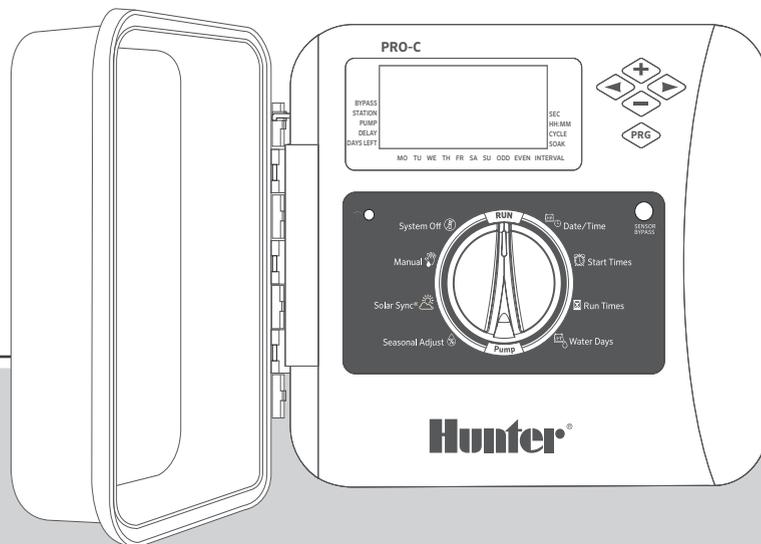


PRO-C®

住宅地および軽商業地用散水コントローラー



P2Cシリーズ
モジュラーコントローラー
屋内/屋外

取扱説明書
設置手順

Hunter®

目次

- 3 仕様
- 4 Pro-Cコントローラーのコンポーネント
- 6 壁へのコントローラーの取り付け
- 7 AC電源の接続
- 8 ステーションモジュールの設置
- 9 ステーションワイヤーの接続
- 10 マスターバルブの接続
- 11 ポンプ起動リレー（オプション）の接続
- 12 Hunterクリック気象センサー（別売）の接続
- 14 Hunterリモート（別売）の接続
- 15 Hunter Solar Sync®センサーへの接続
- 16 現在の日付と時刻の設定
- 17 プログラム開始時刻の設定
- 18 ステーション散水時間の設定
- 19 散水スケジュールの設定
- 21 散水システム実行のオプション
- 24 隠し機能と高度な機能
- 25 トラブルシューティングガイド
- 26 FCC通知

製品についてさらに役立つ情報が必要ですか？
設置やコントローラーのプログラミングに関するヒントを確認することができます。



 1-800-733-2823

hunter.help/P2C

動作仕様

- ・ ステーション数：従来型の配線で4～23ステーション、2線式EZデコーダーシステムオプションで最大32ステーション
- ・ **ステーション散水時間**：1分～6時間（秒モードあり、18ページを参照）
- ・ **開始時刻**：1プログラム当たり4つの個別開始時刻を設定可能、3プログラム（A、B、C）が利用可能
- ・ **散水スケジュール**：7日間カレンダー、最大31日間隔のインターバル散水、奇数日または偶数日のプログラム

電氣的仕様

- ・ **トランス入力**：120VAC、60Hz（国際使用時は230VAC、50/60Hz）
- ・ **トランス出力**：24VAC、1A
- ・ **ステーション出力**：24VAC、0.56A（ステーション毎）
- ・ **P/MV出力**：24VAC、0.28A
- ・ **最大出力**：24VAC、0.84A（マスターバルブ回路を含む）
- ・ **バッテリー**：9Vアルカリ電池（別売）、コントロールパネルでの非ACプログラミングにのみ使用
- ・ バッテリー、フロントパネル、リアルタイムクロック用の内部CR2032リチウム電池

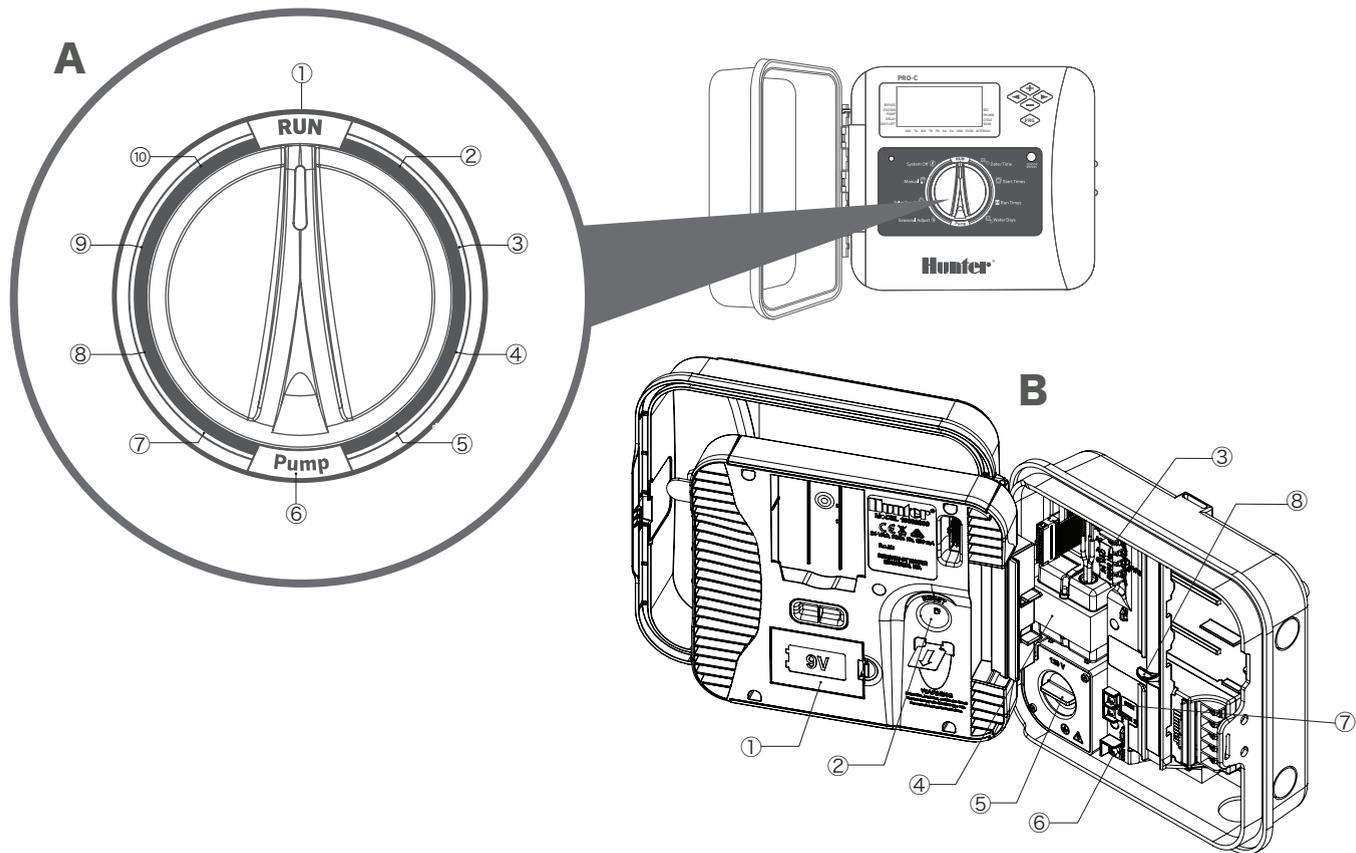
キャビネット寸法

- ・ 高さ：9インチ（23cm）、幅：10インチ（21.5cm）、奥行き：4½インチ（10.9cm）
- ・ キャビネットはNEMA 3R、IP44等級

デフォルト設定

すべてのステーションの散水時間はゼロに設定されています。このコントローラーには不揮発性メモリが搭載されており、停電時でもバッテリーを必要とせずに、入力されたすべてのプログラムデータが保持されます。

Pro-Cコントローラーコンポーネント



A コントロールダイヤル

①	実行	自動操作時の通常のダイヤル位置です。
②	日付/時刻の設定	現在の日付と時刻を設定します。
③	プログラム開始時刻の設定	各プログラムで1~4の開始時刻を設定します。
④	ステーション散水時間の設定	各ステーションの散水時間を設定します。
⑤	散水日の設定	個別の散水日、奇数日、偶数日、またはインターバル散水のスケジュールを選択します。
⑥	P/MV操作の設定	各ステーションのポンプまたはマスターバルブを有効または無効にします。
⑦	季節調整	季節に基づいて、ステーションの散水時間に全体的な調整を適用します (5%~300%)。
⑧	Solar Sync®センサー	Solar Sync ETセンサーを使用する場合に、ユーザーが設定をプログラムできるようにします。
⑨	手動 — 単一ステーション	単一ステーションの散水を一度だけ有効にします。

B 配線コンパートメント

①	9Vバッテリー	アルカリ電池 (別売) により、AC電源なしでコントローラーのフェイスバックでのプログラミングが可能になります。
②	リセットボタン	コントローラーをリセットします。プログラムされたすべてのデータはそのまま保持されます。
③	SmartPort®入力端子	Hunterリモコンを使用するためのSmartPortワイヤーハーネスの接続に使用されます。
④	トランス	内部24VAC変圧器、電源コードとプラグで配線済みです。
⑤	ジャンクションボックス	AC主電源をコントローラーに接続するための領域を確保している配線コンパートメントです。
⑥	コモン端子	ソレノイドバルブへのフィールドコモン接続に使用されます。また、センサー回路の配線を行うためにも使用されます。
⑦	センサー入力 (x 2)	Hunter Solar Syncとクリックセンサーの接続に使用されます。
⑧	電源スライド	PCM出力モジュールの挿入および取り外し時にスライドしてPower Lockのオン/オフを切り替えます。

壁へのコントローラーの取り付け

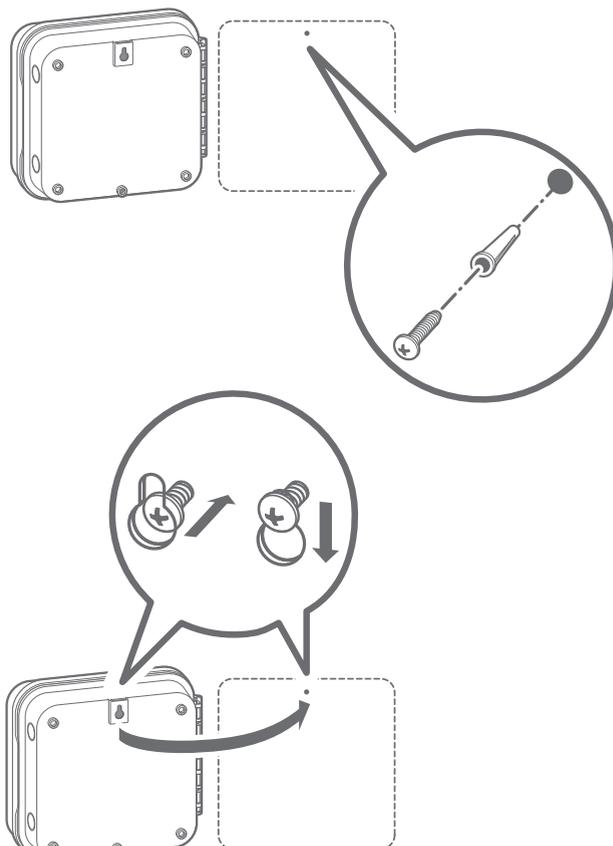
屋内および屋外の設置に必要なすべてのハードウェアが含まれています。

1. コントローラー上部の穴を基準に、1インチ (25mm) ネジを壁に固定します。注意：乾式壁や石造壁に取り付ける場合は、スクリューアンカーを取り付けます。
2. コントローラーをネジに合わせ、コントローラー上部の穴がネジと重なるようにスライドさせます。
3. 穴にネジを取り付けて、コントローラーを所定の位置に固定します。



注意

屋外モデルは、水や天候に左右されにくいのが特徴です。屋外のPro-Cコントローラーを主電源に接続する作業は、資格のある電気技術者が地域の条例に従って行う必要があります。適切に設置しないと、感電または火災の原因となる可能性があります。このデバイスは、小さなお子さまが使用することを想定していません。お子さまがこのデバイスで遊ばないようにしてください。



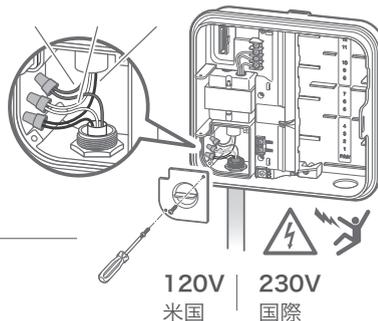
屋外キャビネット

P2Cモデルには電源コードとプラグがあらかじめ配線されており、屋内と屋外いずれの用途でも簡単に設置できます。コントローラーに直接線間電圧で電力を供給する場合は、次の配線手順に従ってください。

1. キャビネット底面の左側にある½インチ (13mm) のコンジット開口部を通して、**AC**電源ケーブルとコンジットを配線してください。
2. 配線をジャンクションボックス内にあるトランスワイヤーに接続します。**AC**配線を取り付ける際は、必ずUL規格認定済みのコンジット½インチ (13mm) オス型アダプターを使用してください。
3. コントローラーの底面にある½インチ (13mm) の穴にアダプターを挿入します。筐体内のアダプターにナットを取り付けます。

- ① グラウンド
(緑)
- ② ニュートラル
(白)
- ③ ホット
(黒)

屋外キャビネット



これは資格のある電気技術者のみが実行してください。

AC配線を取り付ける際は、必ずUL規格認定済みの½インチ (13mm) コンジット (オス型アダプター) を使用してください。Pro-Cコントローラーでは、定格15Aの過電流保護装置を使用してAC電源を供給することを想定しています。

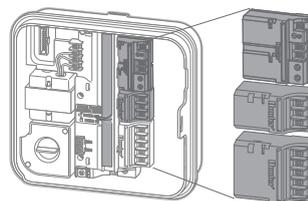
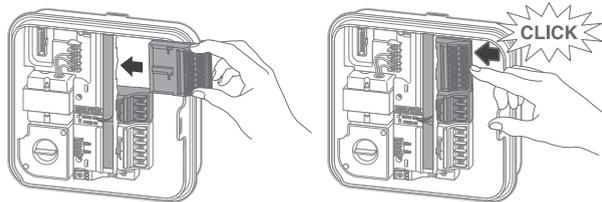
ステーションモジュールの設置

Pro-Cコントローラーは、最大4台のステーション用のベースモジュールが工場に取り付けられた状態で提供されます。追加モジュールは、3ステーション (PCM-300)、9ステーション (PCM-900)、または16ステーション (PCM-1600) 単位で追加できます。従来の有線システムを合計23ステーションまで追加できます。追加のモジュールは別売りです。

また、Pro-CコントローラーはEZデコーダーシステム (EZDS) に対応し、従来型と2線式のハイブリッド運用が可能です。Pro-Cデコーダーモジュール (PC-DM) を追加することで、合計32台までのステーションを制御できます。このシステムでは、ICC2、HCC、およびHPCコントローラーで使用されるものと同じEZ-1デコーダーを使用します。設置とプログラミングの詳細については、PC-DM設置ガイドを参照してください。



hunter.info/P2CDecoder

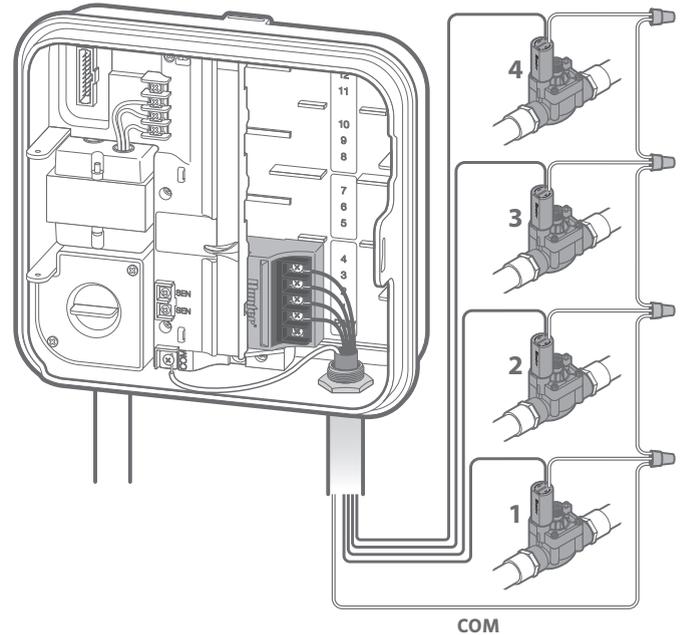


PCMモジュールの設置

Pro-Cコントローラーは、モジュールの通電状態を保持し、コントローラーにしっかりと固定するため、使いやすい**Power Lock**機能を搭載しています。**Power Lock**を使用すると、**Power Lock**スライドを押すだけで、すべてのモジュールを同時にロック解除またはロックすることができます。

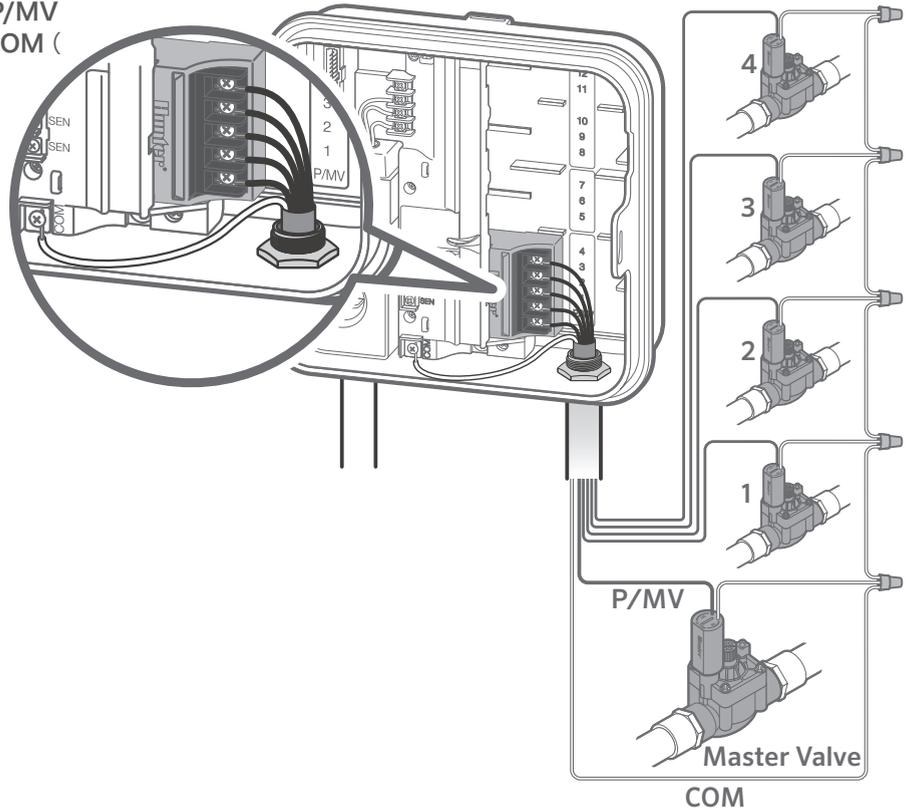
1. **Power Lock**を**Power Off** (ロック解除) 位置にスライドさせます。PCMモジュールをコントローラーキャビネットの適切な位置に順番に挿入します。
2. すべてのモジュールを配置したら、**Power Lock**を**Power On** (ロック) 位置にスライドさせて、モジュールへ電源を供給し、コントローラーに固定します。
3. Pro-Cコントローラーは、正しいステーション数を自動的に認識します。フェイスパックの背面にあるリセットボタンを押したり、コントローラーの電源を入れ直したりする必要はありません。

1. コントロールバルブとコントローラーの間にバルブワイヤーを配線します。
2. バルブでは、すべてのバルブのいずれかのソレノイドワイヤーにコモンワイヤーを取り付けます。これは、一般的には白いワイヤーです。各バルブの残りのワイヤーに個別のコントロールワイヤーを取り付けます。すべてのワイヤースプライス接続は、防水コネクタを使用して行う必要があります。
3. コンジットを通してバルブワイヤーを配線し、コンジットをキャビネット底面の開口部のいずれかに取り付けます。
4. すべてのワイヤーの端から絶縁体を½インチ (13mm) 剥がします。バルブのコモンワイヤーを**COM** (コモン) 端子に固定します。個々のバルブコントロールワイヤーすべてを適切なステーション端子に取り付けます。



マスターバルブの接続

マスターバルブからのいずれかのワイヤーを、4ステーションベースモジュールのP/MV端子に接続します。残りのワイヤーをCOM (コモン) 端子に接続します。



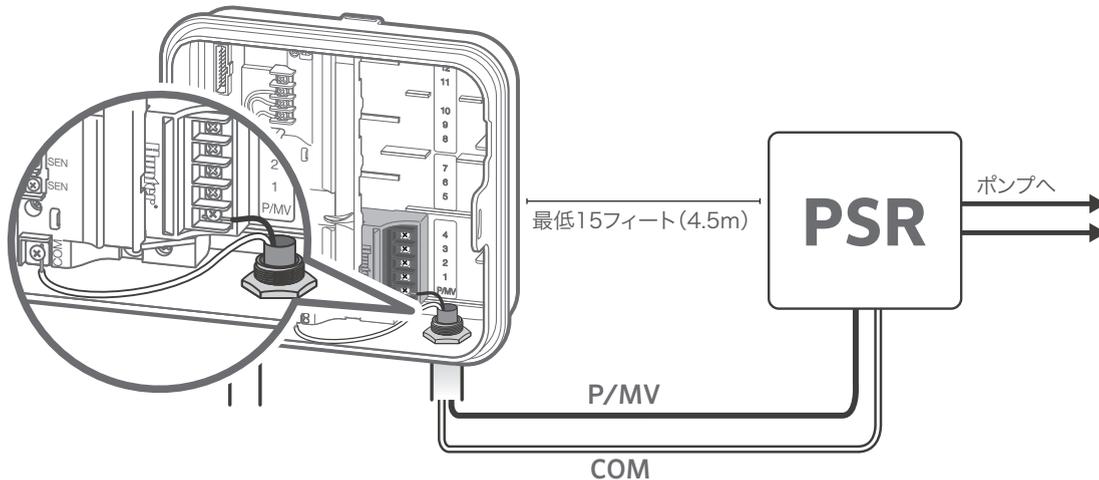
1. ポンプリレーからコントローラー筐体にワイヤーペアを配線します。
2. ポンプのコモンワイヤーを端子スロット**COM** (コモン) に、ポンプリレーからの残りのワイヤーを4ステーションベースモジュールの端子スロット**P/MV**に接続します。

リレー保持電流は0.28A (24VAC) を超えないようにしてください。コントローラーを直接ポンプに接続しないでください。コントローラーが損傷します。

ポンプ起動リレーの設置の詳細については、サポートページにアクセスしてください。



hunter.help/PSR

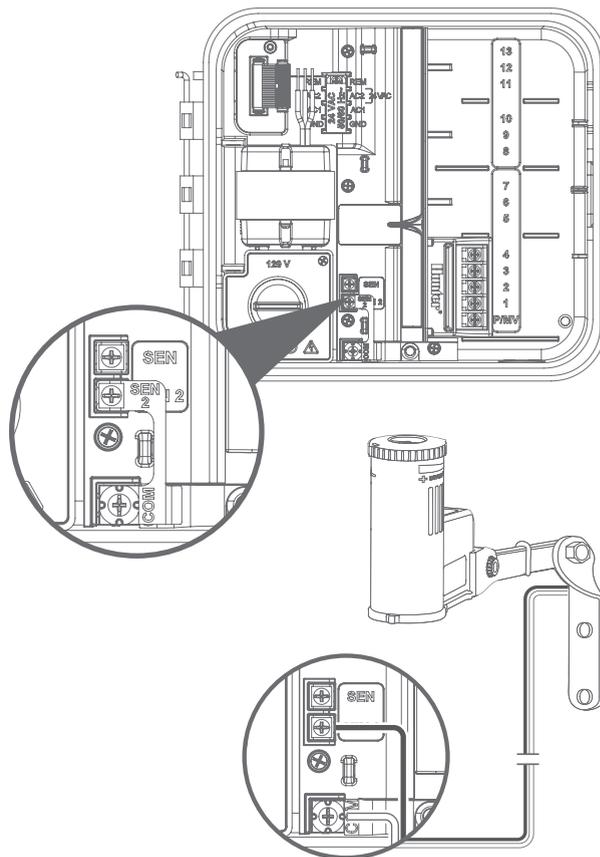


Hunterクリック気象センサー（別売）の接続

Hunter気象センサーまたはその他のマイクロスイッチタイプの気象センサーをPro-Cコントローラーに接続できます。このセンサーの目的は、気象条件に応じて自動散水を停止することです。

1. **SEN-2**と**COM**をまたいで取り付けられている金属製のジャンパプレートを外します。
2. センサーからの1本のワイヤーを**SEN-2**ネジ端子に、もう1本のセンサーワイヤーを**COM**端子に接続します。

気象センサーによって自動散水が無効になると、ディスプレイに**OFF**と表示されます。



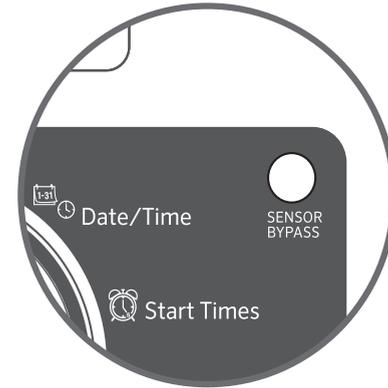
注意

手動単一ステーション機能を使用すると、取り付けられたセンサーを無視して散水できます。

気象センサーを手動でバイパスする

レインセンサーによって散水が中断している場合は、コントローラーの前面にあるバイパススイッチを使用してバイパスすることができます。

センサーバイパスボタンを押すと、センサーステータスが一時的にバイパスされ、通常のコントローラー操作が可能になります。**バイパススイッチは最大24時間有効で、その後は通常のセンサーステータスに戻ります。**センサーバイパススイッチが有効になっているときは、ディスプレイにバイパスインジケータが表示されます。Solar Syncセンサーを使用している場合、バイパススイッチは季節調整の更新に影響しません。

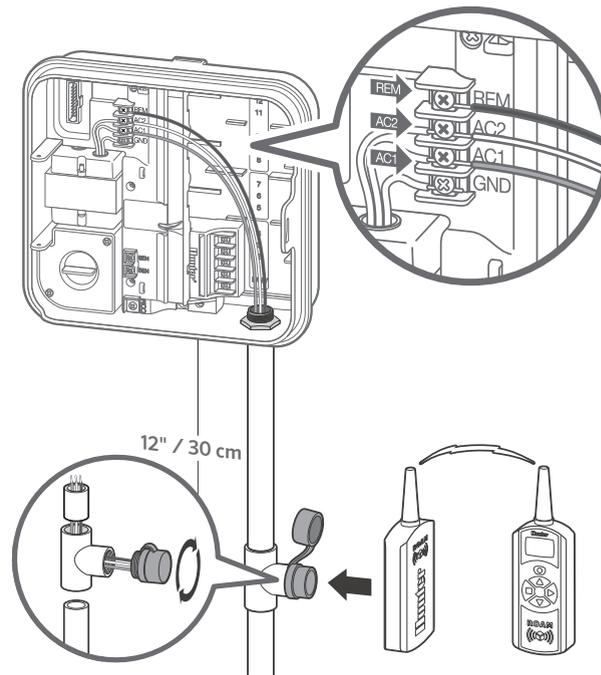


Hunterリモート (別売) の接続

Pro-Cコントローラーは、Hunterリモコンと互換性があります。SmartPortワイヤーハーネス (すべてのHunterリモートに付属) を使用すると、Hunterコントロールをすばやく簡単に使用できます。Hunterリモートを使用すると、コントローラーの場所まで行ったり来たりしなくてもシステムを操作できます。

SmartPortコネクターの取り付け

1. SmartPortコネクターは、サイドロックアウトを使用してキャビネットに直接取り付けるか、コントローラーに接続されているコンジットに取り付けることができます。
2. **AC1**と書かれたネジ端子に**赤い**ワイヤーを接続します。ネジ端子**AC2**に**白い**ワイヤーを接続します。ネジ端子**REM**に**青い**ワイヤーを接続します。

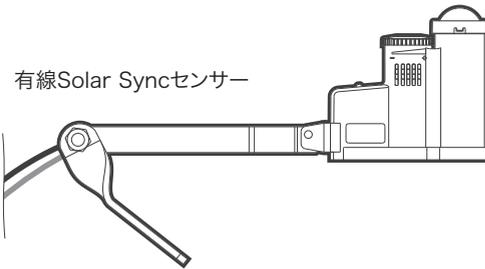


Pro-Cコントローラーは、Solar Sync ETセンサーを追加することで「スマート」になります。この高度な気象センサーは、毎日の蒸発散 (ET) 率を計算し、地域の気象条件に基づいて散水スケジュールを調整します。さらに、センサーには、降雨または凍結状態での散水を防ぐための自動降雨および凍結シャットダウン機能が搭載されています。

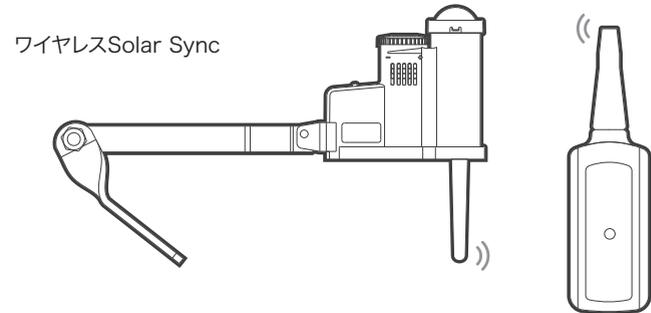
Solar Syncセンサーは、Pro-Cコントローラーのセンサー端子番号1 (SEN) にのみ配線できます。その他のSolar Syncの設置とプログラミングの説明については、QRコードをスキャンしてください。



hunter.info/SolarSyncSensor



有線Solar Syncセンサー



ワイヤレスSolar Sync

Solar Syncレシーバー

現在の日付と時刻の設定

1. ダイヤルを**DATE/TIME**の位置まで回します。
2. ディスプレイ上で現在の年が点滅します。+ボタンと-ボタンを使用して年を変更します。→ボタンを押して月を設定します。
3. 月が点滅します。+ボタンと-ボタンを使用して月を変更します。→ボタンを押して日を設定します。
4. 日那点滅します。+ボタンと-ボタンを使用して日を変更します。→ボタンを押して時刻を設定します。
5. 時刻が表示されます。+ボタンと-ボタンを使用して、AM、PM、24 hrから選択します。→ボタンを押して時間に移動します。+ボタンと-ボタンを使用して、ディスプレイに表示される時間を変更します。→ボタンを押して分に移動します。+ボタンと-ボタンを使用して、ディスプレイに表示される分を変更します。

これで日付と時刻が設定されました。



1. ダイアルを**START TIMES**の位置まで回します。
2. **PRG**ボタンを押して、**A**、**B**、**C**を選択します。
3. +ボタンと-ボタンを使用して、開始時刻を変更します（15分単位で変化します）。1つの開始時刻で、そのプログラム内のすべてのステーションが順番にアクティブになります。
4. 別の開始時刻を追加する場合は→ボタンを、次のプログラムを追加する場合は**PRG**ボタンを押します。



プログラム開始時刻の消去

ダイアルを**START TIMES**の位置にセットした状態で、午前0時（深夜）になるまで+ボタンと-ボタンを押します。この位置で-ボタンを1回押すと、**OFF**と表示されます。



注意

すべてのステーションは番号順に動作します。散水プログラムを有効にするために必要なプログラム開始時刻は1つだけです。

プログラムの4つの開始時刻がすべてオフになっている場合、そのプログラムはオフになります（他のすべてのプログラムの詳細は保持されます）。開始時刻がないため、そのプログラムでは散水が実行されません。

ステーション散水時間の設定

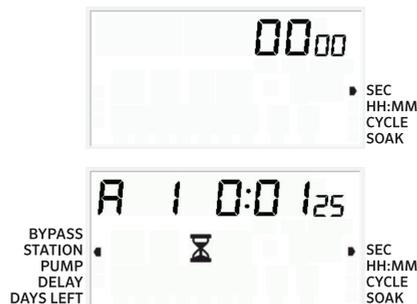
1. ダイアルを**RUN TIMES**の位置まで回します。
2. ディスプレイには、最後に選択したプログラム (**A**、**B**、**C**) と選択したステーション番号が表示され、そのステーションの散水時間が点滅します。**PRG** ボタンを押すと、他のプログラムに切り替えることができます。
3. +ボタンと-ボタンを使用して、ディスプレイに表示されているステーション散水時間を変更します。ステーション散水時間は1分から6時間まで設定できます。
4. →ボタンを押すと、次のステーションに進みます。
5. ステーションごとに手順2と3を繰り返します。



秒モードでの散水時間

秒モードを有効にすることで、ステーション散水時間を秒単位で入力することができます。秒モードを選択するには、次の手順に従ってください：

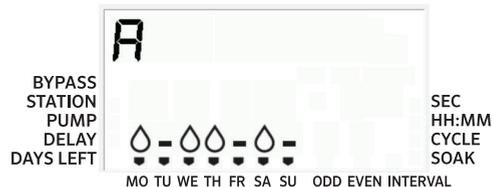
1. ダイアルをRunに合わせた状態で、+ボタンを押しながらダイアルを回し、**Start Times**に合わせ、+ボタンを放します。
2. +ボタンと-ボタンを押すと、秒モードの有効/無効が切り替わります。ディスプレイのポインターインジケータは、**SEC** (秒の場合) または**HH:MM** (標準的な散水時間の場合) を示します。
3. 秒モードを有効にした状態で、ダイアルを**Run Times**の位置に回し、+ボタンと-ボタンで各ステーションの散水時間を1秒間隔で増減させます。
4. ユーザーは、最大5分まで、散水時間を秒単位で設定できます。5分を超える散水時間は、1分単位で設定されます。



1. ダイヤルを**WATER DAYS**の位置まで回します。
2. ディスプレイには、最後に選択したプログラム (**A**、**B**、**C**)が表示されます。**PRG**ボタンを押すと、他のプログラムに切り替えることができます。
3. コントローラーには、動作日のスケジュール情報が表示されます。特定の曜日、特定の間隔を空けた日、または奇数/偶数日に散水することができます。各プログラムに使用できる散水日のオプションは1種類だけです。

特定の曜日に散水する

1. +ボタンを押して、特定の曜日の散水をアクティブにします。その曜日の散水をキャンセルする場合は、-ボタンを押します。ボタンを押すと、ディスプレイの表示は自動的に次の日に進みます。
2. プログラミング後、ダイヤルを**RUN**の位置にセットすると、選択したすべてのプログラムと開始時刻の自動実行が有効になります。

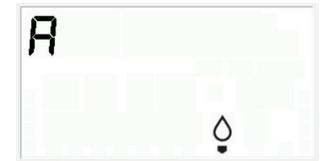


奇数日または偶数日に散水する

1. この機能では、特定の曜日ではなく、奇数日 (1日、3日、5日など) や偶数日 (2日、4日、6日など) を使用して散水を行います。
2. 曜日指定モードで、カーソルが**SU**についた状態で、→ボタンを1回押します。
3. 偶数日の散水を希望する場合は、-ボタンを1回押しします。すると、画面上で**EVEN**が点滅します。-ボタンを押すと、**ODD**と**EVEN**を切り替えることができます。
4. 奇数日または偶数日の散水を選択したら、ダイヤルを**RUN TIMES**の位置に戻します。



MO TU WE TH FR SA SU ODD EVEN INTERVAL



MO TU WE TH FR SA SU ODD EVEN INTERVAL

! **注意**

奇数日に散水する場合、各月の31日と2月29日は必ず**OFF**になります。

インターバル散水

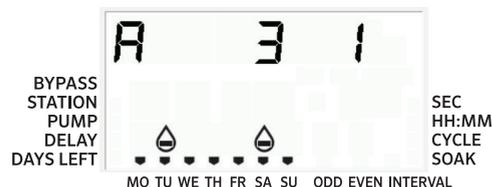
この機能を使用すると、特定の曜日ではなく、散水インターバルの日数に基づいて一貫した散水スケジュールを設定できます。

1. ダイヤルを**WATER DAYS**の位置まで回します。月曜日の上に水滴マークが点滅しているはずですが。
2. **EVEN**が選択されるまで→ボタンを押し、もう1回→ボタンを押します。ディスプレイがインターバルモードに切り替わり、インターバル日数の数字が点滅します。
3. ディスプレイには、インターバル日数とインターバルの残り日数の2つの数値が表示されます。
4. 散水と散水の間の日数 (インターバル日数) が点滅します。+ボタンと-ボタンを使用して、希望する散水間のインターバル日数を選択します。
5. →ボタンを押します。インターバルの残り日数が点滅します。+ボタンと-ボタンを使用して、次に希望する散水までの日数を選択します。残り1日ということは、翌日に散水するということです。
6. インターバル残り日数を設定した後、→ボタンで無散水日を選択できます (任意)。←ボタンと→ボタンで特定の日を選択し、-ボタンを押して無散水日として指定します。



注意

ディスプレイの下部で任意の日が無散水日として選択されている場合、インターバル散水ではそれらの日が除外されます。たとえば、インターバル日数が5に設定されていて、月曜日が無散水日である場合、コントローラーは5日ごとに散水しますが、月曜日には決して散水しません。インターバル散水日が月曜日で、月曜日が無散水日である場合、プログラムはさらに5日間散水しないため、合計10日間散水が行われません。



実行

プログラミングが完了した後、ダイヤルを**RUN**の位置に回すと、選択したすべてのプログラムと開始時刻の自動実行が有効になります。

システム停止

ダイヤルを2秒間**SYSTEM OFF**の位置にセットすると、現在散水中のバルブが停止します。有効なプログラムはすべて中止され、散水が停止されます。コントローラーを通常の自動操作に戻すには、ダイヤルを**RUN**の位置に戻します。

単一ステーションの手動操作

1. ダイヤルを**MANUAL**の位置まで回します。
2. ディスプレイ上でステーション散水時間が点滅します。→ ボタンを使用して、目的のステーションに移動します。その後、+ボタンと-ボタンを使用して、ステーションが散水する時間を選択できます。
3. ダイヤルを**RUN**の位置に回して、ステーションを動作させます。指定したステーションのみ散水を開始し、その後、コントローラーは自動モードに戻ります。以前に設定したプログラムは変更されません。

！ 注意

手動単一ステーション機能は、取り付けられたセンサーを無視して散水できます。

季節調整

季節調整は、コントローラー全体を再プログラミングすることなく、全体的に散水時間の変更を行うために使用されます。

1. ダイヤルを**SEASONAL ADJUST**の位置に回します。
2. +ボタンまたは-ボタンを押して、5%から300%の間で目的のパーセンテージを設定します。

新しく調整された散水時間を表示するには、ダイヤルを回して散水時間を設定します。季節調整が行われると、表示される散水時間はそれに応じて更新されます。



！ 注意

コントローラーは、最初は必ず100%でプログラムされているはずですが。

ワンタッチの手動スタートとサイクル実行

ダイヤルを使わずに散水プログラムを有効にすることもできます。

1. ダイヤルを**RUN**の位置に合わせた状態で、→ボタンを2秒間長押しします。
2. この機能のデフォルトは、自動的にプログラム**A**に設定されています。PRGプログラムを押すことで、プログラム**B**または**C**を選択することができます。
3. ステーション番号が点滅します。←ボタンまたは→ボタンを押してステーションをスクロールし、+ボタンと-ボタンを使用してステーションの散水時間を調整します。
4. →ボタンを押して、目的のステーションまでスクロールします。2秒待つと、プログラムが開始されます。

この機能は、追加の散水が必要なときに素早くサイクルを回すのに最適です。また、システムを点検するためにステーションをスクロールしたい場合にも役立ちます。



ポンプ/マスターバルブ (P/MV) 動作の設定

すべてのステーションでは、デフォルトでP/MV起動回路がONに設定されています。

P/MV操作をプログラムするには、次の手順に従ってください：

1. ダイアルを**PUMP**の位置まで回します。
2. +ボタンまたは-ボタンを押すと、特定のステーションのP/MV起動を**ON**または**OFF**に切り替えることができます。
3. →ボタンを押すと、次のステーションに進みます。
4. 必要なすべてのステーションについて、手順2と3を繰り返します。

プログラム可能な無散水

この機能により、ユーザーは1日から31日までの指定された期間、プログラムされたすべての散水を停止できます。プログラム可能な無散水期間が終了すると、コントローラーは通常の自動操作を再開します。

1. ダイアルを**SYSTEM OFF**の位置まで回します。
2. +ボタンを押すと、**OFF**の横に1が表示されます。
3. 必要な回数だけ+ボタンを押して、希望する無散水日数を設定します (最大31日)。
4. ダイアルを**RUN**の位置まで戻します。これでコントローラーは、設定した日数だけ**OFF**に設定されます。

各日の午前0時になると、残りの無散水日が減少します。ゼロになると、ディスプレイには通常の時刻が表示され、次のスケジュールされた開始時刻に通常の散水が再開されます。

隠し機能と高度な機能

機能	方法	説明
プログラム可能なセンサー上書き	-を長押しし、ダイヤルをStart Timesまで回します。	個々のステーションがセンサーシャットダウンを無視するように設定します。センサーを無視するには、◀または▶でステーションを選択し、+/-を使用してオフに変更します。
サイクル・アンド・ソーク	+を長押しし、ダイヤルをRun Timesまで回します。サイクルを入力し、PRGを押してソークを設定します。	ステーションが一度に散水できる最大時間と、別のサイクルまで待機する必要がある最小時間を設定します。散水時間をセグメントに分割し、流出を防ぎます。
ステーション間の遅れ時間	-を長押しし、ダイヤルをRun Timesまで回します。	低速なバルブやタンクの充填のために、散水時間にステーション間の遅延（数秒または数分）を挿入します。
プログラムを非表示	-を長押しし、ダイヤルをWater Daysまで回します。	+/-を使用して、4から1に変更し、余分なプログラムを非表示にします。1はプログラムAと開始時刻1のみを表示します。4はすべてのプログラム（A、B、C）とプログラムごとの開始時刻4つを表示します。
Solar Sync™ 遅延	+を長押しし、ダイヤルをSolar Syncまで回します	Solar Syncセンサーが散水時間の調整を開始するまでの日数を設定します。センサーが自動的に調整を開始する前に、設定した日数の間、地理条件を確立できるようにします。
クリック遅延	+を長押しし、ダイヤルをOffまで回します。	センサーが作動して復旧した後、散水の停止を継続する日数を設定します。
合計散水時間	ダイヤルをRun Timesまで回します。ステーション1が表示されているときに◀を押します。PRGを押すと、他のプログラムを選択できます。	プログラム開始時刻に含まれるすべての散水時間の合計を計算して表示します。
プログラムのテスト	PRGを3秒間長押しします。	テストまたは診断のために、入力した時間の間、コントローラー内のすべてのステーションを実行します。
Easy Retrieve® メモリ	保存の場合は+とPRGを長押し、復元の場合は-とPRGを長押しします。	すべてのプログラム情報を保存し、後で復元できるようにします。
すべてリセット	PRGとリセットボタンを押します。	すべての散水情報を消去します。
Quick Check™ テクノロジー	+、-、◀、▶を同時に押し、+を押します。	配線の問題がないかについて、すべてのステーションをチェックします。
プログラムの実行	▶を長押しし、PRGを押してプログラムを選択します。	選択したプログラムに含まれるすべてのステーションを実行します。▶を使用すると、次のステーションに進みます。
秒モードの散水時間	+を長押しし、ダイヤルをStart Timesまで回します。	秒モード（任意）では、最大5分まで、散水時間を秒単位で設定できます。+ボタンと-ボタンを押して、秒モードと分モードを切り替えます。

機能	方法	説明
ディスプレイにERRと番号が表示される	フィールド配線の短絡またはソレノイドの不良	フィールド配線とバルブソレノイドを確認してください。いずれかのボタンを押すと、ERRメッセージがクリアされます。
ディスプレイにP ERRが表示される	ポンプ/マスターバルブの配線またはソレノイドの短絡	P/MVの配線とソレノイドを確認してください。ポンプ起動リレーの仕様を確認してください。
ディスプレイにSP ERRが表示される	SmartPortエラーです。リモートまたは他のSmartPortデバイスへの接続付近に電気ノイズがあります。	接続部を電気ノイズの発生源から遠ざけます。
ディスプレイに「No AC」と表示される	コントローラーにAC電源が供給されていません。	ヒューズ/ブレーカーとコントローラーへの入力電源を確認してください。
ディスプレイには散水と表示されているが、散水が行われていない	フィールド配線の問題、ソレノイドの問題、システムへの水圧なし	フィールド配線（電圧計）を確認してください。バルブソレノイドを確認してください。水源が開放されていることを確認してください。
降雨センサーで散水が停止されない	ジャンパーワイヤーを外していない、センサースイッチがBYPASSの位置にある	SEN-2端子のジャンパー線を取り外します。センサースイッチをActiveの位置に設定します。
コントローラーによる散水が連続して行われている	開始時刻が多すぎる	1つの開始時刻で、プログラム内のすべてのステーションが操作されます。不要な開始時刻を削除してください。

この装置はテストされ、FCC規則の第15部に基づくクラスBのデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、装置の電源を切ったり入れたりすることで判断できますが、次のような対策を1つ以上講じることで干渉の是正を試みることをお勧めします：

- ・ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変える。
- ・ 装置と受信機の間隔を広げる。
- ・ 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する。
- ・ 販売店または経験豊富な無線/テレビ技術者に相談する。

Hunter Industriesによって明示的に承認されていない変更や修正を行うと、このデバイス进行操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。必要に応じて、追加の提案について Hunter Industries Inc.の担当者または経験豊富な無線/テレビ技術者に相談してください。



この製品は、本書に記載されている用途以外には使用しないでください。この製品に関するサービスは、訓練を受けた資格のある担当者のみが行う必要があります。

お客様の成功を支援することが私たちの原動力です。私たちが行うすべてのことに、イノベーションとエンジニアリングへの情熱が組み込まれています。当社の卓越したサポートへのコミットメントによって、お客様が今後何年もわたってHunterファミリーのお客様でいてくださることを願っています。



ジェーン・スミス、
Landscape Irrigation and Outdoor Lighting社長

HUNTER INDUSTRIES | Built on Innovation®
1940 Diamond Street, San Marcos, CA 92078 USA
hunterindustries.com

© 2023 Hunter Industries™. Hunter, Hunterロゴ、およびその他のすべての商標は、米国および他の国々で登録されたHunter Industriesの財産です。♻️リサイクルしてください。